

白い妖精たち

鶏足山 焼森山

KT

栃木県茂木町から送って戴いた「いい里さがわ館」のパンフレットには『ようこそ妖精の森へ』の表題と黄色く色づく群生した三桮（三叉）（さんさ）の花の写真が掲載され

ている。先の戦争時に植えたものらしい。
その黄色い妖精は少し残っているもののほとんどは白い妖精に衣替えしていた。



三桮の森を半周した中ほどの地点から踏み跡が確認できるので予定通り鶏足山を目指す。湿った踏み跡をたどり稜線に辿り着く。地図上の位置を確認し鶏足山頂に向かう。鶏足山山頂には常陸の旧七会村（現城里町）で設置したと思われる祠があり、遠く水戸当たりと思われるビル群まで見渡せる。その先の太平洋も見える時もあるらしいが靄っている。八溝山へと続いているのであろう県境の稜線の山々も確認できる。花好きには興味をそそられる『花香月山』と言う名の山も見える。

焼森山までの稜線からは山桜と新緑がモザイク模様・パッチワークのように見える。一本一本が自己主張しかつ互いに引き立てあい、調和して

いる。いい里さがわ館の前の染井吉野の木々は皆単一色で満開だった。

染井吉野は、江戸時代末期から接ぎ木で増やしたクローンである。皆遺伝子的には同じ個体の単一性であり、自家受粉は出来ないが、他種の山桜とは交配してしまう。

山桜は、花の色合いも時期



も含め性質が一本一本異なる
多様性のある種類である。

中腹に木花咲耶姫(コンナノキ
さき)、三極の白い妖精の悪戯
なのか、やけに白い山桜が見
える。染井吉野と山桜の交配
種なのかも知れない。テレビ
では染井吉野の樹齡が短いこ
とはよく取り上げられるが、
他種の桜との交配による純潔



種保持の問題は殆んど取り上
げられない。

雨巻山、芳賀富士など地図
で確認出来る。しかし、富士
山は見えず、南側は見えるも
の筑波山は同定出来なかつ
た。

焼森山から帰りに三極群生
地をまた一周してきたがその
時は陽が射して『白い妖精』
は一層輝いていた。

【山行日】H 28年4月13日
【メンバー】S々木(M)、G
藤、O知、KT

